

令和7年度 「資金調達入門研修」及び 「資金運用入門研修」の実施について

地方公共団体金融機構 地方支援部 ファイナンス支援課

1 はじめに

地方公共団体金融機構（以下「機構」といいます。）では、地方公共団体のニーズの変化等に対応し、また、その変化を見据えながら地方公共団体の財政の健全性の確保・向上に向け、総合的な地方支援業務の実施に取り組んでいます。具体的には市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）及び全国市町村国際文化研修所（国際文化アカデミー）との共催による「資金調達・運用・財政分析の集中講座」等の研修を実施しています。また、他にも「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」や地方財政に関する調査研究など、様々な地方支援業務を展開しているところです。

本稿では、今年度に開催した研修の中から、地方公共団体の現場から寄せられた「業務で金融に触れる機会が少ない」、「多忙で金融を学ぶ時間がない」、「業務に関連する部分を短期間で学びたい」という声に対応し、内容を絞ってそれぞれ一日で実施した「資金調達入門研修」及び「資金運用入門研修」についてご紹介いたします。

2 研修の概要

本研修は、主に資金調達及び資金運用に携わる職員を対象とした研修で、平成25年度から開催しています。

令和7年度につきましても、昨年度に引き続き、東京・大阪の2会場にて開催いたしました。

皆様からの格別の御高配を賜り、両会場を合わせて前年度を上回る延べ328名の方々にご参加いただきました。

研修の詳細は以下のとおりです。

（開催実績）

資金調達入門研修

- ① 大阪会場（TKPガーデンシティPREMIUM
大阪梅田新道）
7月10日（木）81名参加
- ② 東京会場（JA共済ビルカンファレンスホール）
10月16日（木）76名参加

資金運用入門研修

- ① 大阪会場（同上）
7月11日（金）80名参加
- ② 東京会場（同上）
10月17日（金）91名参加

3 研修の目的

資金調達・資金運用等の基本事項をそれぞれ一日ずつという短期間ながらも対面方式で集中して学んでいただくことを目的とし実施いたしました。

4 研修の内容

■資金調達入門研修

地方公共団体の資金調達においては、避けては

通れないのが「金利」とその「交渉」です。また、金利に影響を与える「経済」について知ることも重要です。

本研修では、資金調達について「資金調達入門」、経済・金融について「日本経済の見方」、「日本銀行の金融政策と金利動向」の3つの内容を解説しました。

<資金調達入門>

地方債と金利について、投資家の見方と金融機関の見方の2つの視点からの金利の決定方式について解説するとともに、平均償還年限の考え方や、借入利率と基準金利との間でどの程度の差（スプレッド）があるかを分析するために必要な考え方について解説しました。

また、より良い資金調達のために、地方公共団体が金融機関から借入れを行うにあたって、金融機関から見たリスクと地方公共団体から見たリスクの違いなど、交渉のポイントとなる点について解説しました。

<日本経済の見方>

短期金利と長期金利の違いや、それぞれの金利決定メカニズムについて、また長期金利に影響を与える経済成長についてGDPや物価、為替相場などの経済指標を交えながら解説しました。

<日本銀行の金融政策と金利動向>

日銀政策委員会、日銀の金融調節手法や国債金利の推移などについての解説や、金利上昇の影響についての解説をしました。

■資金運用入門研修

資金管理・資金運用業務において、運用商品の選択方法や説明責任を果たすために必要な金融の基礎知識について説明するとともに、近年増加している公金取扱手数料を巡る金融機関との交渉に

おける課題についても取り上げました。

本研修では、「資金運用商品の種類と特徴」、「資金運用のリスク管理」、「資金運用の手法」、「銀行の現状と指定金融機関」、「日本銀行の金融政策と金利動向」の5つのパートに分けて解説しました。

<資金運用商品の種類と特徴>

資金運用の基本として押さえるべきポイントと預金、債券についての基礎知識について解説しました。

<資金運用のリスク管理>

預金と債券それぞれのリスク、リスクに対する対応策やリスクマネジメントの考え方について解説しました。

<資金運用の手法>

債券運用における具体的な手法、運用手法に応じた資産の組合せ、見極めについて解説しました。

<銀行の現状と指定金融機関>

金融機関経営の変化や、地方公共団体と指定金融機関の関係、金融DXと収納・支払業務といった最新の動向について解説しました。

<日本銀行の金融政策と金利動向>

資金調達、資金運用双方にとって重要なため、資金調達入門研修と同じ内容を解説しました。

5 おわりに

全国の地方公共団体から多くの方々にご参加いただき、また、終了後には活発な質疑応答や意見交換があり、大変充実した研修となりました。

研修終了後に行ったアンケートでは、97%の方から「研修の受講を他の職員に勧めたい」との回答をいただきました。また、今後の研修受講の形態に関しては、全体で67%の方が「会場での

受講」を希望するなど、オンラインによる研修等が広く普及してきた昨今においても、対面による研修開催のニーズが根強くあることが分かる結果となりました。

また、個別のご意見としては、

- ▶銀行等引受債の借入事務で参考となる知識が得られた。
- ▶銀行側の事情を聞くことができて、参考になった。
- ▶預金及び債券の運用リスクが、とてもよくわかった。
- ▶運用の方法について具体的に説明いただきとても勉強になった。
- ▶地方公共団体と銀行の手数料交渉等の経緯を初めて知った。指定金制度や金融DXについて詳細にまとめてあり、理解が深まった。



講義の様子（大阪会場）

- ▶金融施策についてわかりやすく理解できた。
- ▶最新の状況を把握するために、毎年の受講を検討したいと思った。
- ▶無料で本講義を受講できてありがたい。

といったご意見をいただきました。

これらのご意見・ご要望を参考に、研修内容のさらなる充実に向けて取り組んでまいります。

なお、市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）及び全国市町村国際文化研修所（国際文化アカデミー）との共催による「資金調達・運用・財政分析の集中講座」では、今回ご紹介した研修とは異なり、2泊3日で調達・運用・財政分析を総合的に取り上げ解説するとともに、グループ討議、演習、事例紹介など、さらに充実した内容でご提供しています。是非、こちらの研修への参加もご検討ください。

この他にもオンラインでいつでも受講できるeラーニングや、講師が直接現地に伺う出前講座など様々な研修メニューをご用意しています。お気軽にご活用いただき、業務にお役立ていただければ幸いです。

地方支援業務のご案内

研修などの人材育成支援や実務支援に関する
詳細はこちからご確認ください >>>



＜お問合せ先＞

地方公共団体金融機構
地方支援部ファイナンス支援課
〒100-0012
東京都千代田区日比谷公園1-3
市政会館
TEL：03-3539-2677
E-mail：finance@jfm.go.jp

～人とつながる、世界が広がる～

成長をサポートする制度と働きやすい環境

派遣元の費用負担なし

JFMが派遣に係る経費(給与、長期・短期給付及び介護保険に係る事業主負担分)を負担します。

人脈形成のチャンス

プロパー職員のほか、全国の地方公共団体から派遣された職員、総務省出身職員、金融機関職員がいるため、幅広い人脈を築くことができます。

充実した研修制度

JFMでは、派遣された職員が地方財政や金融等に関する知識・経験を有する職員として成長し、地方公共団体の経営に一層役立つ有益な人材となるように充実した研修制度をご用意しております。JFMで勤務した経験が将来にわたる財産となり、地方の人材育成に貢献できるよう努めています。

研修の一例

地方財政と金融に関する職員研修

地方財政制度研修／金融基礎研修／自治体の財政分析 等

詳細は[こちら](#)



資格取得やスキルアップのための経費支援

簿記2級以上／英検2級以上／TOEIC対策講座／銀行業務／証券アナリスト 等

職員住宅を完備

東急田園都市線二子玉川駅、たまプラーザ駅付近に住宅(単身用・世帯用)を完備しています。



交通案内

- 都営地下鉄三田線「内幸町」下車(A7)徒歩2分
- 東京メトロ丸ノ内線「霞ヶ関」下車(B2)徒歩4分
- 東京メトロ千代田線「霞ヶ関」下車(C3)徒歩3分
- 東京メトロ千代田線「日比谷」下車(A14)徒歩3分
- JR線「新橋」下車徒歩8分、または「有楽町」下車徒歩12分

公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所 提供

金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く



地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1番3号 市政会館
地方公共団体金融機構ホームページ <https://www.jfm.go.jp/>



お問い合わせ先

この派遣は、地方三団体(全国知事会、全国市長会、全国町村会)の斡旋により実施しておりますので、お問い合わせにつきましては、各事務局又は地方公共団体金融機構企画部秘書役室へお願いいたします。

地方公共団体金融機構企画部
秘書役室 TEL 03-3539-2629 企画課 TEL 03-3539-2674

ホームページにて、「職員派遣ご案内」の動画公開中。
パンフレットと併せてご覧ください。

